

浅草寺宝蔵門の屋根向けチタンを受注

新日鉄チタン事業部は、浅草寺宝蔵門の本瓦葺き屋根向けの、チタン7t(約1,080m²)を受注した。浅草寺宝蔵門の改修に伴い、耐震性や参拝客の安全性確保などのため、従来の瓦より軽量で耐久性に優

れる新しい素材「チタン」が、本瓦葺きの屋根として初めて採用されることになった。

今後も、伝統的日本建築におけるチタン需要の拡大を図っていく。



改修前の浅草寺宝蔵門

お問い合わせ先 チタン事業部 TEL 03-3275-7992

関東・北海道地区で個人株主IR説明会を実施

本年の個人株主IR説明会は、2月の中部地区を皮切りに関東・関西各地区で順次行われた。7月には関東地区で経営概況説明会と製鉄所見学会、北海道地区で経営概況説明会を開催し、両日とも多数の個人株主が参加した。

両説明会では活発な質疑応答がなされ、参加した株主からは「新日鉄」を身近に感じ

る良い機会。今後も継続して実施して欲しい」などの感想が寄せられた。

当社の株式の4分の1以上を占める多数の個人株主向けに、昨春から始めたこの企画は好評で、これまでに延べ4,000人を超える参加があった。9月以降も全国各地で順次開催の予定。



関東地区製鉄所見学会の様子



北海道地区説明会の様子

特殊鋼棒線二次加工の事業企画会社および製造・販売会社の設立

新日鉄は、松菱金属工業(株)、宮崎精鋼(株)および(株)サンユウと、海外における特殊鋼棒線二次加工事業の一体的かつ迅速な展開を狙いとして、共同で事業企画会社(株)NBCを設立した。

今後、海外における日系自動車メーカーの生産増に伴い、冷

間圧造部品の現地生産数量の増大が予想されるため、当該加工製品の最適な供給体制の構築を行う。

また、(株)NBCの設立にあわせて、中国江蘇省蘇州市に冷間圧造用鋼線の製造・販売会社を設立した。

【事業企画会社概要】

名称：株式会社NBC
(Nippon Steel Bar & CH Wire)
代表者：代表取締役社長 富永真市(新日本製鉄(株)棒線営業部長)
資本金：300万円
出資比率：新日鉄40%、松菱金属20%、宮崎精鋼20%、サンユウ20%

【中国における製造・販売会社概要】

名称：日鉄特殊鋼棒線製品(蘇州)有限公司(仮称)
所在地：中華人民共和国江蘇省蘇州市
株主：新日鉄28%、松菱金属14%、宮崎精鋼14%、サンユウ14%、豊田通商12%、メタルワン9%、日鉄商事9%
製造・販売品目：冷間圧造用鋼線
生産能力：約7千t/年

鈴木金属工業(株)との提携拡大

新日鉄は、特殊鋼線のトップメーカーである鈴木金属工業(株)が実施する第三者割当増資を引き受け、同社株約12%の買増しを行った。

同社では自動車用ばね材の生

産設備増強、および品質向上対策のほか、住友電工スチールワイヤー(株)とのステンレス鋼線事業の合弁会社設立に向けた投資を計画しており、それらの投資金額の一部を第三者割当増資に

よって調達することを決定。当社は、その割当増資を全額引き受けることによって、自動車用ばね材分野の生産体制の整備と同社との一層の関係強化を図り、高級鋼分野における当社グルー

プの競争力を確固たるものにしていく。

お問い合わせ先
総務部広報センター
TEL 03-3275-5021

豪州バルガ炭鉱で新鉱区を開発

新日鉄は、資源大手のエクストラータ社などとの間で、豪州のバルガ炭鉱(*1)において新鉱区(坑内掘り)の開発を行うことに合意した。開発投資総額

は約3億5千万豪州ドル(約300億円)(*2)で、2007年に新鉱区の建設工事に着手し、2009年から豪州最大級の最新鋭掘削設備(ロングウォール)によ

って石炭生産を開始する予定。今後も引き続き鉄鋼原料サプライヤーとの関係を強化しつつ、中長期的な原料の安定確保に努めていく。

*1:バルガジョイント・ベンチャーが運営。シドニーの北西約150kmに所在。

*2:バルガジョイント・ベンチャーの各出資者が権益比率に応じて負担。

名古屋、焼結鉱生産累計3億t達成

7月28日、名古屋製鉄所の焼結機が焼結鉱生産累計3億tを達成した。同機は1964年に第1焼結機が稼働、その後、第2焼結機（1967年）、第3焼結

機（1969年）が順次稼働し、42年の月日が経過した。この間、第3焼結ストランド延長、全機パレット拡幅化、脱硫・脱硝設備の設置などにより生産構

造・環境対策を拡充させてきた。

お問い合わせ先
名古屋製鉄所 総務グループ
TEL 052-603-7024



中国/PATINが累計出荷量100万tを達成

新日鉄が出資しているブリキメーカーPATIN（Guangzhou Pacific Tinplate、広州太平洋馬口鉄有限公司）が今年7月に累計出荷数量100万tを達成した。

1997年2月に営業運転開始。1999年に原板の輸入許可証問題に直面するなど思うような販売ができなかった時期もあったが、10年間かけての達成となる。昨年

10月には能力増強工事を実施し、生産能力は年間20万tとなった。

お問い合わせ先
ブリキ営業部
TEL 03-3275-7479



（右から）後藤営業副総経理、板垣総経理、島上財務兼計画部長、張登發常務副総経理、宇野生産副総経理、孫信章行政副総経理、葛技術顧問、李偉玉財務副総監

サイアム・ユナイティッド・スチール タイ総理大臣賞を2年連続で受賞

新日鉄が筆頭株主として出資しているタイの冷延鋼板メーカー、The Siam United Steel（1995）Co.,Ltd.（社長：山田勉）は、2006年度のタイ総理大臣賞（品質管理部門）を受賞し、8月18日に首相官邸にて表彰を受

けた。需要家の多様なニーズに応えて表面性状、寸法、材質などあらゆる面でバラツキの少ない高品質の冷延製品を安定的に供給し続け、広範囲にわたってタイの産業界に貢献してきたことが

高く評価された。

同社の総理大臣賞受賞は、2000年度の安全部門、2005年度の実績部門に続き、2年連続3度目となった。



SUS 山田社長（左から5人目）、Payungsak副社長（左から4人目）

JHFCセントレア水素ステーションの本格運用を開始

愛知万博会場から移設を進めてきた「JHFCセントレア水素ステーション」が完成し、7月21日に開所式が行われた。これは新日鉄と東邦ガス(株)、

大陽日酸(株)が、中部国際空港およびその周辺地域を走行する燃料電池バスなどへの燃料供給を目的として中部国際空港島内に建設していたもので、

このほど本格的に運用を開始した。

お問い合わせ先
名古屋製鉄所 総務グループ
TEL 052-603-7024



日本分析化学会「先端計測分析技術・機器開発賞」を受賞

新日鉄先端技術研究所解析科学部研究部の林俊一が第3回先端計測分析技術・機器開発賞を受賞した。同賞は、先端分析器・技術の開発と実用化において、業績の著しい45歳以下の個人に

贈呈される。高温炉の操業条件の変動に伴って変化する環境負荷物質の放出挙動を明らかにするオンライン・リアルタイムモニタリング技術について、3つの国家プロ

ジェクトを主体的に推進し、超音速分子ジェット多光子吸収イオン化質量分析（Jet-REMPI）法を基本とする環境負荷物質のpptレベルの高感度分子選別オンラインリアルタイム分析装置の開発に成功した点、さらに実焼却炉を用いて有効性を実証した点が評価された。



紀尾井ホール

(財)新日鉄文化財団

<http://www.kioi-hall.or.jp>

シリーズ「歌」-こころ響き合うとき-VOL.8 二期会マイスター・ジグラー・ときめきのハーモニー
コンサート&ディナー11/26(日)

コンサート/15:00開演(紀尾井ホール・S席) ディナー/ご利用時間17:30~21:30(赤坂プリンスホテル新館40階レストラン「ブルーガーデンA」)

『Nippon Steel Monthly』読者へのプレゼント企画
紀尾井ホールで素敵な音楽を楽しんだ後、赤坂プリンスホテルのレストランでスペシャルディナーはいかがですか? 今回特別にご用意したコンサート&ディナーのセット券を抽選で1組2名様にごプレゼント! ご希望の方は氏名、住所、電話番号、『NIPPON STEEL MONTHLY』10月号の感想をご記入の上、10月25日までに右宛宛にFAXまたははがきでご応募ください。

【抽選応募先】新日鉄総務部広報センター
〒100-8071 千代田区大手町2-6-3 FAX 03-3275-5611
* 抽選結果は発送をもってかえさせていただきます。また、限定30名様分を発売中ですので、通常ご希望の方はお早めにお申し込みください。

【セット券発売 お申し込み・お問い合わせ先】
紀尾井ホールチケットセンター TEL 03-3237-0061
料金: 12,000円(コンサート&ディナーセット券1名様分)

10月の主催・共催公演はありません

お問い合わせ・チケットのお申し込み先: 紀尾井ホールチケットセンター TEL 03-3237-0061 受付10時~18時 日・祝休